



E c h o No. 1 7 5
 令和7年 正月号
 院寺寺寺
 峰福林禅
 一禅禅宗
 * * * *
 羽村臨濟会

バナナと人は紙一重

地球上に存在する全ての生物は、同じ起源を持つことが判明しています。38億年前に海の中で誕生した単細胞の生物が進化と枝分かれを繰り返しながら、今日の多種多様な生物になったのです。人は母親の胎内でその38億年の進化をたどるようで、受精の瞬間は地球最初の生命と同じ単細胞、すぐに細胞分裂を始めて多細胞になり、魚だった時のエラのある状態、両生類だった時の手に水かきがある状態、鳥だった時の背中に羽がある状態（肩甲骨がその名残）、尻尾が生えていた状態（尾てい骨）を再現しながら、最終的に人の形になるのです。人間は他の生き物と何ら変わらない存在なのです。

全ての生物の遺伝情報はA、T、G、Cで表される4種類の塩基で構成されており、種の違いとはこの4種の構成が違っただけなのです。アメリカのヒトゲノム研究所等の研究によると、全人類の遺伝子は99.9%が共通で、残りのわずかな0.1%の違いが「個性」なのだそうです。あの大谷翔平選手と実は誰もがほぼ同じ遺伝子を持っている訳ですから、努力次第で人はどんな存在にでもなれる筈

なのです。

起源が同じで枝分かれした証拠に人間とチンパンジーの遺伝子は96%が類似、猫は90%、ネズミ85%、ニワトリ60%、昆虫のミバエが61%類似、さらに驚くことに植物のバナナですら人間と60%類似しているというのです。人間として生まれたことを当然のように思っていた私たちは、わずかな違いで、バナナだったかもしれないのです。

こうしてみると、私達が人間としてこの世に生まれ生きていることは奇跡のような事です。せっかく人間として生まれたのですから、その生命を精一杯に生きていきたいものです。

また、人間となんら変わらない兄弟のような他の生命を私達は毎日食べているのですから、「いただきます」という感謝の気持ちを忘れず、これまで頂いていた多くの生命の分もあわせて精一杯生きていきましょう。

（禅林 恭山）